四條畷市議会議員（無所属）／一級建築士
http://nagahata.jp　sky@nagahata.jp
発行：2015.01.25
ー 毎月発行 ー

長畑（ながはた）ひろのり News

市政報告 02 月号
vol.088

mixi　twitter　facebook　ココログ

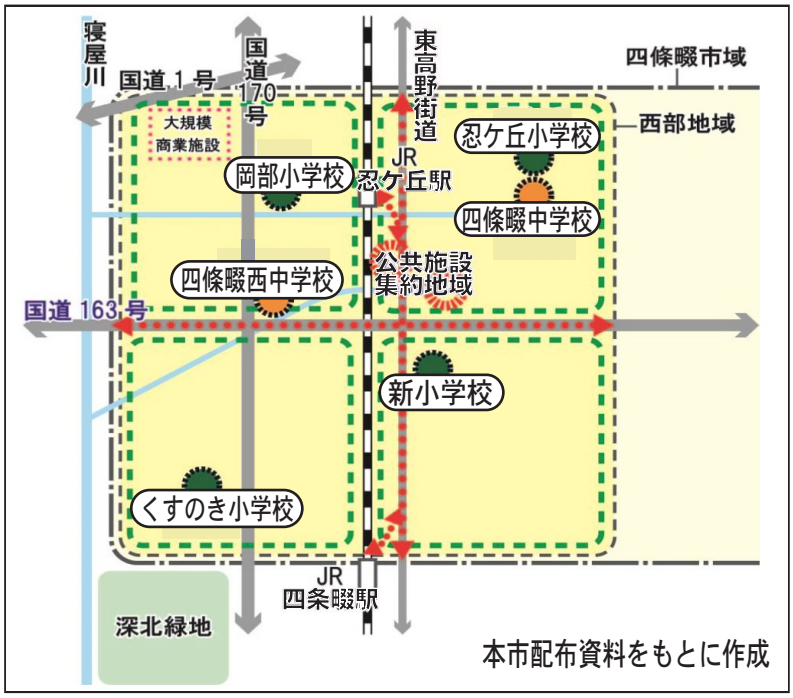
１２月定例議会における一般質問

・四條畷市まちづくり長期計画について

本市は、まちづくり長期計画において平成３２年度までに小中学校の再編を完了させる計画を発表しています。

● 廃校となる学校：四條畷南中学校、四條畷小学校、四條畷南小学校、四條畷東小学校
○ 新設される学校：四條畷南中学校跡地に新小学校

その後１５年以内を目途に、**市民総合センター用地**に、市役所、シルバー人材センター、商工会、社会福祉協議会を集約し、**四條畷小学校跡地**に、市民総合センター、図書館、保健センター、教育センターを集約する案も同時に発表されています。



本市配布資料をもとに作成

【長畑質問】**四條畷東小学校**廃校後の跡地利用は。
【行政答弁】人口増に繋がる土地利用を図る。
【長畑質問】売却の予定と感じるが、現在も多くの市民が利用している東小の体育館はどうなるのか。
【行政答弁】四條畷南中学校跡地にできる**新小学校**が学校運営を行う平成３２年度までは、指定避難所として継続する。
【長畑要望】土砂災害以外の避難所として平成３２年度までの使用であることを防災マップ等に反映し、市民への安全のために周知を必ず行って頂きたい。

【長畑質問】**四條畷南小学校**廃校後の跡地利用は。
【行政答弁】体育館を含めた一定規模の空間づくりに、地域の活動拠点を盛り込み検討している。
【長畑要望】ぜひ大きな公園を作って頂きたい。また、今後のまちづくり計画では、緑を増やすよう検討して頂きたい。

【長畑質問】**四條畷中学校**における設計改修工事の内容は。
【行政答弁】技術科棟を撤去した跡地に小中連携を進めるための児童生徒、教職員の共有スペースを設ける。

【長畑質問】**四條畷西中学校**における設計改修工事の内容は。
【行政答弁】国道１６３、１７０号の角地に位置していることから、騒音、粉じん、風通しに配慮した校舎等への改修を想定している。また、市民総合体育館と隣接する立地環境を活かし、分散型エネルギーインフラを活用しての市民も利用できる地域開放型屋内温水プールの整備について検討する。
【長畑質問】そこまでなら建替えも必要では。
【行政答弁】長期的には、校舎の改修だけではなく、一部建替えも選択肢の一つと考える。
【長畑要望】工事中の騒音や粉じん等に配慮し、生徒に負担のかからないよう行って頂きたい。

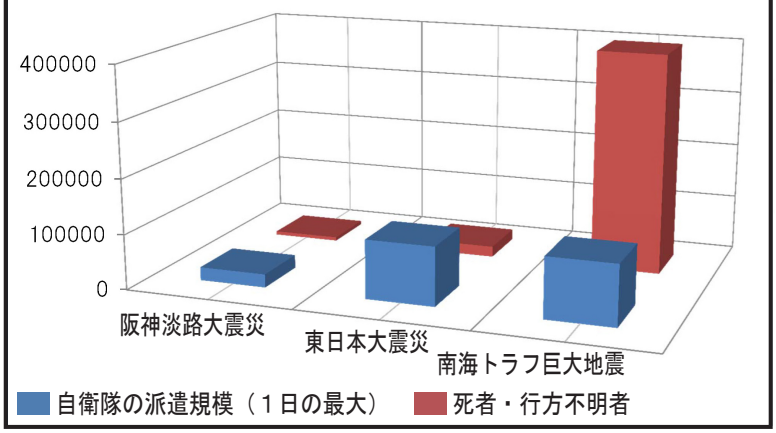
【長畑質問】質問の主旨と変わるが、４中学校が３中学校へ統合される計画であるならば、本市で唯一吹奏楽部のない**田原中学校**へ楽器を回し吹奏楽部を作ることはできないのか。
【行政答弁】市内各中学校の楽器は古く、修理を重ねながら使用しているのが現状。
【長畑要望】まちづくり長期計画から今後のこと（平成３０年度より四條畷南中学校は廃校となり中学校は新校区で学校運営を行う）を考えれば、毎年少しずつでも良いので楽器のメンテにかかる予算を３年間つけて頂きたい。そうすれば、３中学校にある楽器が全て使用可能となる。その上で、新校区による学校運営をする時に廃校となる四條畷南中学校１校分の楽器を田原中学校へ回すことをすれば、安価で楽器が揃えることができる（新たに楽器を揃えるとなれば数千万円の予算が必要）。 吹奏楽部を運営するのに顧問体制や活動場所、生徒のニーズに問題があるよう言われるが、まずは楽器を揃えて頂きたい。それが先ではないか。

・南海トラフ地震等における災害の備えについて

平成２６年度の防衛白書(2014.3.31 現在)によりますと、自衛官(※１)の定員 247,172 人に対し、91.3％の充足率で、現員は 225,712 人です。その人員で、国の防衛もしながら災害に対応しなければなりません。防衛省のホームページから作成した下図に示すように、南海トラフ地震が起これば東日本大震災の２０倍強にあたる約４０万人の死者や行方不明者がでると予想されています。それほどの被害でも、自衛官の派遣数はほとんど変わらないのです。

ところで、四條畷青年会議所の講師例会において自衛隊大阪地方本部の方に聞いた話ですが、自衛官は救急セットを救助の為に持ち合わせていないそうです。救急セットは自衛官一人が一個を身につけるだけで、食事も自衛官一人に対して一食の計算でしか準備していません。となりますと、仮に市民の方が怪我をして自衛官が包帯を巻いてくれた、しかしその包帯は自衛官自身の分だそうです。同様に、市民の方が自衛官から食事を提供された、しかしそれは自衛官が自分たちの食事を我慢して与えてくれた、そういうことだそうです。

	阪神淡路大震災	東日本大震災	南海トラフ巨大地震
死者・行方不明者数	約 6, 400 名	約 19, 200 名	(約 400, 000 名 ?)
自衛官の派遣規模（１日の最大）	約 24, 100 名	約 107, 000 名	(約 110, 000 名 ?)



また、一度に３０人、一日で１，２００人が入れる野外入浴セットは２２セットしかないそうです。その数を考えれば大きな災害時に本市へ設置される可能性は低いでしょう。

防衛のことを考えながら上の図をみましても広範囲な災害時に自衛官が本市へ派遣されるとは考えにくく、運良く派遣されたとしても、全てが解決できるものではありません。

つまり、国、府や市の公助に頼るのは限界がありますので自助・共助の考え方を市民へ周知して頂く、そして、自衛官が来ない前提でも、防災計画や防災訓練を行って頂きたいと、強く要望しました。

また、次の２点（①②）も重ねて要望しました。

多くの自衛官にもご協力を頂き、昨年の１１月１６日に忍ケ丘小学校で開催された「四條畷市地域防災訓練」でのハシゴ車

① 上画像の訓練時に、本市と大東市の消防が一つになる時の本市最大のメリットであったハシゴ車を初めて見ました。しかし、あまりにも長いボディに進入経路等を考えると不安を感じ、本市にあるマンションの消火活動に使えるのかと質問をしました。行政からは、６階以上の建物が本市には４６棟あるが、そのうちの２５棟で対応できると答弁がありました。そこで、次にハシゴ車を買い替える時には、少しでも小回りの効くものにして頂くように要望しました。

② 備蓄食料については、現在砂地区に建設中のイオンとの間で“災害時における防災に関する協定”の締結を要望しているとの答弁がありました。まだ、締結していないことに疑問を感じ、再度質問しましたところ、他のイオンではオープン時に締結しているとのことでした。そこで、オープン時には必ず協定の締結をして頂くことを要望しました。

(※１)「自衛官」とは、防衛省・特別の機関、自衛隊の任務を行う特別職国家公務員。自衛隊員のうちでも特に“制服組”と呼ばれる隊員を指す。また「自衛隊員」という語の範囲は、自衛官のみならず、防衛事務次官などの官僚や一般事務官・技官（背広組）等に加え、定員外の職員である自衛官候補生、即応予備自衛官、予備自衛官、予備自衛官補、防衛大学校学生、防衛医科大学校学生、陸上自衛隊高等工科学校生徒及び非常勤職員も含まれる。(Wikipedia より)

シリーズイオン工事進捗状況８

１月１８日に撮影した画像です。前号、前々号と工事画像を載せていませんでしたが、今では駆体の主な鉄骨工事が終わり、圧倒的な存在感となっています。